

# 平成 28 年度風水害夜間実動訓練

【平成 28 年 6 月 18 日(土)実施】

## 報 告 書

平成 28 年 8 月

大阪府危機管理室(災害対策課)

# 目 次

1. 訓練目的及び概要 . . . P. 1
2. 各市町の訓練内容 . . . P. 2
3. 事前広報状況 . . . P. 7
4. 訓練結果 . . . P. 8
5. 今回の訓練の検証及び今後の対応 . . . P. 11

<参考 1> 住民アンケート結果（水平避難編）

<参考 2> 住民アンケート結果（垂直避難編）

<参考 3> 昨年度との住民アンケート結果の比較（水平避難編）

<参考 4> 昨年度との住民アンケート結果の比較（垂直避難編）

## 1. 訓練目的及び概要

### (1) 訓練の目的

平成26年8月、広島市で夜間に発生した土砂災害を教訓として、府域の土砂災害危険箇所などにおける夜間の集中豪雨を想定して、大阪府と5市町が共同で夜間における風水害訓練を実施することにより、夜間の住民避難に関する課題を抽出し、より円滑な住民避難や応急災害対策への反映を図るとともに、府民が自らの身を守る行動の促進や意識の向上を図る。

### (2) 実施日時

平成28年6月18日(土) 20:00～21:00

### (3) 参加機関

大阪府;政策企画部危機管理室

都市整備部事業管理室、富田林土木事務所、鳳土木事務所、岸和田土木事務所

市町村;岸和田市、泉大津市、貝塚市、和泉市、河南町

消 防;泉大津市消防本部、和泉市消防団第5分団

警 察;和泉警察署警備課、和泉警察署北田中駐在所

住 民;当該市町の地域住民

情報伝達訓練対象者 約307,400人

うち 実動訓練参加予定者 274人

(泉大津市 30人、和泉市 84人、河南町 160人)

### (4) 気象想定

13:00 大阪府に大雨・洪水注意報 発表

17:00 大阪府に大雨警報(土砂災害、浸水害)及び洪水警報 発表

19:30 大雨に関する大阪府気象情報 第1号 今後1時間に80ミリ程度の雨の予想

19:45 対象市町に「土砂災害警戒準備情報」発表 ⇒ 「避難準備情報」発令

20:00 対象市町に「土砂災害警戒情報」発表 ⇒ 「避難勧告」発令

### (5) 訓練態様

ア) 大阪府と市町、防災関係機関との災害情報の伝達訓練

イ) 市町によるエリアメールや防災行政無線を活用した、市町による避難勧告に基づく住民避難(屋内での垂直避難の励行含む)

ウ) 訓練後の住民アンケート調査などを含む検証

## 2. 各市町の訓練内容

### (1) 岸和田市

#### ①訓練概要

- ア) 大阪府と市、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
- ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
  - ・市内の二級河川(牛滝川・春木川・津田川)が氾濫危険水位に到達の恐れ
- イ) 市によるエリアメール／緊急速報メールを活用した避難勧告に基づく住民避難
- ・市内全域にエリアメール／緊急速報メールによる住民への避難勧告
  - ・夜間住民避難訓練の実施  
全戸対象の垂直避難訓練
- ウ) 訓練後アンケート調査などにより検証
- ・訓練参加住民にアンケート調査を実施

#### ②情報伝達訓練対象者数

全市民 約 20万人

#### ③実動訓練参加者数

- ・垂直避難  
住民が自主的に実施

#### ④訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒準備情報」発表  
⇒ 「避難勧告」発令
- 20:03 市内全域約 20 万人に避難勧告発令(エリアメール／緊急連絡メール)  
⇒ 「垂直避難」
- 20:30 訓練終了



## (2) 泉大津市

### ①訓練概要

ア) 消防隊員による施設職員を対象に訓練指導

- ・特別老人ホーム施設職員を対象に消防隊員による事前訓練指導

イ) 施設職員による大津川の氾濫を想定した垂直避難を実施

- ・施設入居者の搬送を考慮したうえでの垂直避難実施

### ②情報伝達訓練対象者数

施設職員 30人

### ③実動訓練参加者数

- ・垂直避難

施設職員 30人

### ④訓練シナリオ

20:00 「大雨洪水警報」発表

⇒ 大津川の氾濫を想定

⇒ 施設職員による「垂直避難」の実施

20:30 訓練終了



### (3) 貝塚市

#### ①訓練概要

- ア) 大阪府と市、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
- ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
  - ・市内の二級河川(津田川・近木川・見出川)が氾濫危険水位に到達の恐れ
- イ) 市によるエリアメール／緊急速報メールを活用した避難勧告に基づく住民避難
- ・市内全域にエリアメール／緊急速報メールによる住民への避難勧告
  - ・夜間住民避難訓練の実施  
全戸対象の垂直避難訓練

#### ②情報伝達訓練対象者数

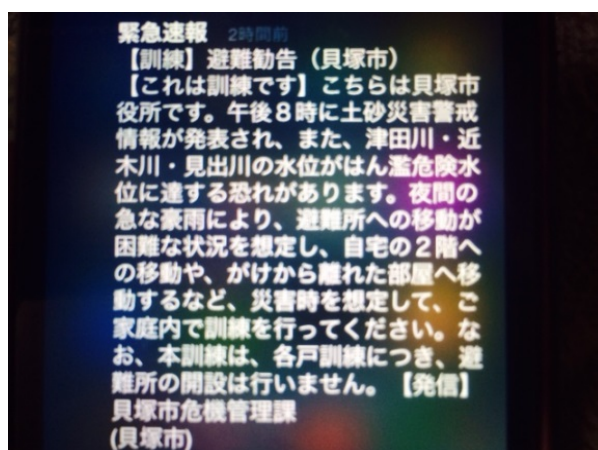
全市民 約 9万人

#### ③実動訓練参加者数

- ・垂直避難  
住民が自主的に実施

#### ④訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒準備情報」発表  
⇒ 「避難勧告」発令
- 20:03 市内全域約 9 万人に避難勧告発令(エリアメール／緊急連絡メール)  
⇒ 「垂直避難」
- 20:30 訓練終了



#### (4) 和泉市

##### ①訓練概要

- ア) 大阪府と市、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
  - ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
  - ・和泉市より避難状況をO-DISにより報告。大阪府と情報共有を図る
- イ) 市による防災行政無線を活用した避難勧告に基づく住民避難
  - ・福瀬町地区に防災行政無線による住民への避難勧告
  - ・夜間住民避難訓練の実施
    - 福瀬町地区会館への水平避難訓練
- ウ) 訓練後アンケート調査などにより検証
  - ・訓練参加住民にアンケート調査を実施

##### ②情報伝達訓練対象者数

福瀬町地区 住民 約 400人

##### ③実動訓練参加者数

- ・水平避難

福瀬町地区の住民 約 84人

##### ④訓練シナリオ

20:00 「土砂災害警戒準備情報」発表

⇒ 「避難勧告」発令

20:03 市内福瀬町地区住民約400人に避難勧告発令(防災行政無線)

⇒ 水平避難(福瀬町会館へ集合)

20:45 市役所(災害対策本部)に避難者数の報告

20:50 O-DIS により大阪府に避難状況の報告

21:00 訓練終了



## (5) 河南町

### ①訓練概要

- ア) 大阪府と町、防災関係機関との災害情報の伝達訓練
  - ・大阪府(水防本部)から市役所に対して土砂災害警戒情報を発表
- イ) 町によるエリアメールや防災行政無線を活用した避難勧告に基づく住民避難
  - ・町内全域にエリアメール／緊急速報メール及び防災行政無線による住民への避難勧告
  - ・夜間住民避難訓練の実施
    - 全戸対象の垂直避難訓練

### ②情報伝達訓練対象者数

全町民 約 1.7万人

### ③実動訓練参加者数

- ・垂直避難
  - 5地区(大宝・河内・中・白木・石川地区)の住民 計160人が集会所での垂直避難を実施
  - その他住民が自主的に実施

### ④訓練シナリオ

- 20:00 「土砂災害警戒準備情報」発表
  - ⇒ 「避難勧告」発令
- 20:03 町内全域約1.7万人に避難勧告発令(エリアメール／緊急連絡メール、防災行政無線)
  - ⇒ 集会所などにいる5地区(大宝・河内・中・白木・石川地区)の住民が垂直避難
  - ⇒ その他住民、自宅などで「垂直避難」
- 20:30 訓練終了





### 3. 事前広報状況

訓練の実施に先立ち、さまざまなツールを使って広報を行い、本訓練のPR・府民周知を行った。

(大阪府)

- ・府政だより(6月号)への掲載
- ・報道発表(6/14)

(市町)

- ・広報紙、ホームページの掲載
- ・回覧等による住民周知
- ・防災行政無線での広報活動 など

府政だより (6月号)

## 4. 訓練結果（住民アンケート結果）

### （1）訓練参加住民（水平避難）

和泉市の訓練では、府が午後8時に土砂災害警戒情報を発表して、それを受けた市が避難勧告を発令。市は、防災行政無線を使って避難勧告を対象住民に発信し、住民が屋内での垂直避難の励行含む避難を行う形での訓練を実施した。また、訓練後に参加住民にアンケート調査を実施し、検証を行った。アンケート回答者は総数53名であった。

#### ①訓練の実施について

今回の夜間訓練について、大雨や土砂災害を想定した避難訓練に初めて参加した人の割合は81%であった。意見として「避難場所を知ることができて良かった」「風水害訓練の大切さを実感できた」「道が暗い」などの声があり、「訓練」を通じての住民の意識向上が確認できた。

#### ②訓練開始合図

防災行政無線により訓練情報を受け取った方は、80%であった。このうち、訓練情報が聞こえたが内容はわからなかったと答えた方が42%。聞こえなかったと回答した方が21%。合わせて63%の方が、訓練情報を覚知できなかったと回答した。実際の降雨時になると、更に聞き取りにくい状況が予測され、災害情報の住民への伝達方法についても工夫が必要と考えられる。

#### ③避難時間

今回の訓練開始の合図を受けてからの避難時間について、「5分未満で家を出た」と答えた方が42%であった。一方で、もし家族全員で避難した場合の時間について回答を求めたところ、23%の方が「10分以上かかる」と回答しており、「20分以上」と答えた方も8%であった。

時間がかかる理由として、「家の戸締り」「持ち出し品の準備」などの避難準備に関する意見から、「家族、同居者に高齢者、子どもがいる」「外出中の家族との連絡」などの各家庭事情による意見があった。自らの命を守っていただく観点から同居の家族を含め、「まずは迅速な避難行動をとっていただく」ことの重要性を、引き続き呼びかける必要性が確認された。

#### ④夜間の避難について

夜間の水平避難について、「水路・側溝が見えない」「見通しが悪い」「避難者の互いが確認できる服装や照明器具が必要」という声が多くあり、夜間の避難を経験することで得られた「暗さ」に対する意見が多く出た。実際に災害が発生し避難が必要となったときは、必ずしも屋外への水平避難だけが避難行動・手法ではなく、家屋や周辺の地理状況を踏まえた屋内での垂直避難なども視野に入れた避難行動をとることが重要だが、水平避難を行う場合の安全対策の工夫の必要が、本訓練を通じ確認できた。

また、32%住民が「避難してからいつまでそこにいればいいか不安」との回答があった。特に、地域版ハザードマップ等で決められた、地区の一時避難場所に避難した住民の方からは、「何もない場所で雨に濡れながらいつまでも待てない」など、一時避難をいつまで行うか、次の対応・行動に係る的確な情報提供をどうしていくかという課題が浮かび上がった。

#### ⑤日頃の備えについて

今回参加された住民の方の日頃の備えとして、「避難所の確認」や「防災マップによる危険箇所の確認」については、半数以上の方が「確認したことがある」と回答した。また、「垂直避難」についての認知度は82%であった。平野部の市町村に比べて、土砂災害警戒区域などを有する市であったためであろうか認識の高さが伺えた。一方、避難時の非常用持ち出し袋の常備率については、70%の方が「持っていない」と答えた。「家族全員分ある」と答えた方はわずか6%に留まった。多くの住民の方は、土砂災害の危険性の認識はもっておられるものの、災害が起こった時の備えについてはまだ十分とはいえないことが明らかとなった。

#### ⑥その他参加住民からの意見

今回参加された住民の方から、アンケートに加えて以下の意見があった。

- ・今回の訓練に参加してはじめて町民会館が避難場所であると知ることができた。
- ・今後もこういった訓練を実施してほしい。
- ・今回のような訓練は大変重要だと実感した。
- ・防災行政無線がしっかり聞こえたのでよかった。
- ・日頃からの心がけが大切だと感じた。
- ・避難所開設も訓練開始と同時に行うことができてよかった。
- ・高齢者の歩行が困難の場合、何かの対策が必要。
- ・避難誘導マイクが聞こえづらくなった。
- ・空き巣が心配

#### ⑦前年度訓練との比較

昨年度に続き、水平避難訓練を実施した和泉市では、夜間避難時の課題として、「水路・側溝が見えない」との意見が前年比31ポイント増の45%、「見通しが悪い」との意見が23ポイント増の45%という結果となっている。これは、昨年度の訓練と今回の訓練で訓練を実施した地区が変わっており、避難路の状況や避難方法(自動車と徒歩)に違いがあることが要因と考えられる。

## (2) エリアメール／緊急速報メール受信住民（垂直避難）

今回、エリアメール／緊急速報メールを発信した市町(岸和田市、貝塚市、河南町)については、訓練終了後に、役所窓口等でアンケート調査を追加実施した。アンケート回答者は総数735名であった。

### ①訓練事前浸透率

今回の夜間訓練についての、訓練事前浸透率(訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合)は、84%と比較的高かった。

訓練の事前周知については、各市町の広報や自治会への事前説明、防災無線などを活用した告知など各市町がさまざまな方法により、事前周知を行った効果が表れた結果となっている。

### ②訓練開始合図

エリアメール／緊急速報メールにより訓練情報を受け取った覚知率は、90%であった。このうち、届いたが気づかなかった方が2%。届かなかったと回答した方が8%。合わせて10%の方が、訓練情報を覚知できなかったと回答した。なお、エリアメール／緊急速報メールの「災害・避難情報」に対する携帯電話の推計対応率は、平成28年3月末時点で携帯電話3社合計83.5%である。

今般、災害情報などを住民に発信する有効なツールとして、エリアメール／緊急速報メールが活用されているが、携帯電話の推定対応率と比較すると高い結果となった。

### ③避難行動

今回の訓練開始の合図を受けてからの行動について、「自宅の2階や近くの高い建物への垂直避難を行った」と答えた方が10%であった。「市の防災マップで避難場所の確認を行った」と答えた方が1%、「災害時の事を家族で話し合うなどした」と答えた方が17%、「災害時の状況をイメージした」と答えた方が32%、合わせて60%であった。訓練開始合図の覚知率が90%であることから、訓練の合図を受け取った方の約67%の方が、何らかの行動を起こしていた。

### ④日頃の備えについて

今回参加された住民の方の日頃の備えとして、「防災マップによる危険箇所の確認」については、70%の方が「確認したことがある」と回答された。平野部に比べて土砂災害警戒区域などを有する市町であったためか認識の高さが伺えた。一方、避難時の非常用持ち出し袋の常備率については、56.8%の方が「持っていない」と答えた。「家族全員分ある」と答えた方はわずか8%に留まった。多くの住民の方は、土砂災害の危険性の認識はあるものの、災害が起こった時の備えについてはまだ十分とはいえないことがわかった。

### ⑤前年度訓練との比較

エリアメール・緊急速報メールによる情報伝達及び垂直避難訓練を実施した岸和田市、貝塚市では、エリアメールの確知率は、岸和田市が前年比34ポイント増の96%、貝塚市が前年比20ポイント増の81%となり、前年比で増加した。また、河南町では、訓練事前浸透率前年比30ポイント増の87%という結果となり、訓練参加率については前年比29ポイント増の46%となった。

## 5. 今回の訓練検証及び今後の対応

### (1) 行政の対応

#### ①水平避難時の暗さへの対策

住民からの意見が多かった「暗さ」への対応については、防犯灯、誘導灯の設置による避難路の照度の確保などのハード対策や、地元消防団員や自主防災組織などが協力して避難所までの誘導を行う地域における防災リーダーの育成・確保や避難ルールの明確化などのソフト対策を検討し、今後、地域の実情に応じて具体化していくことが求められる。

#### ②早期避難誘導及び垂直避難の推奨

気象情報などにより、夜間に大雨など災害の危険性が予測される場合は、日没までの時間帯に避難準備情報を発令するなど、住民に対し早めに避難行動を呼びかける措置が重要である。やむを得ず夜間に避難勧告等を発令する場合は、普段から指定避難所への避難だけでなく、山から離れた2階以上の高い所への「垂直避難」を行うという選択もあることを平時から徹底した上で、災害の危険予見時にそうした呼びかけも行うなど、住民が一定の時間的余裕と選択の幅を持って、慌てることなく災害から身を守る行動を取るよう誘導する。

また、一時避難場所は、降雨時の長時間の避難には向かないため、行政として早めに次の避難行動を誘導するためのルールづくりが求められる。

#### ③住民意識の向上

住民から、日常の訓練の必要性を訴える声が多く上がった。住民の防災意識を向上のためには、昼夜を問わず訓練の実施が必要である。今回は5つの市・町のみであったが、府域各地で繰り返し夜間訓練を実施することで、夜間避難の難しさを市町村及び住民が共に認識し、早めの避難勧告発令の後の適切な避難行動に活かしていくことが必要である。

このため、府も引き続き市町村と共同して、風水害等に伴う様々な災害リスクを想定した訓練を行う。また、市町村においても地域の実情に即した住民との協働による避難訓練の充実が求められる。

また、日頃から広報などを通じて、住民に対して非常用持ち出し袋や懐中電灯、反射ジャケットなど、避難に対する備えを周知しておくことも重要である。

### (2) 住民の対応

今回、夜間訓練を通じて夜間の避難の難しさの認識を深めていただくなど防災(避難)意識の向上が一定図られてきており、今後も市町村や自主防災組織などが行う各地域での夜間等の訓練への参加が望まれる。

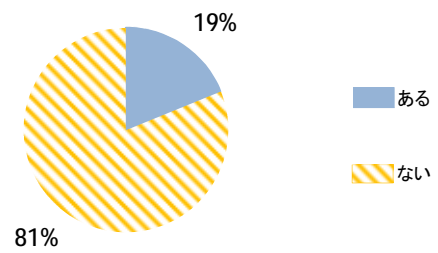
また、台風などの気象情報や市町村の避難情報等を常に注意し、早めの避難を心がけるとともに、普段から、避難場所や避難経路を家族とよく話し合っ確認をしたり、非常用持ち出し袋の準備をあらかじめ済ませておくなど、日頃から万一の深刻な災害発生時においても『命を守る』よう備えをしていただくことが大切である。

## ＜参考1＞住民アンケート結果（水平避難編）

問1: 今回の夜間訓練についてお聞きします。

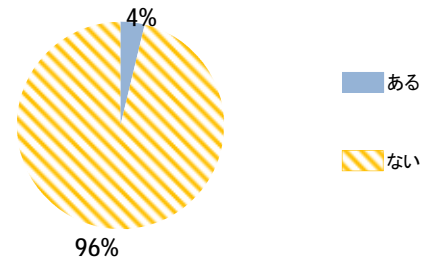
1-① これまで、大雨や土砂災害を想定した避難訓練に参加したことはありますか。

<input type="checkbox"/> ある	10 人
<input type="checkbox"/> ない	43 人
	n= 53



1-② 夜間の避難訓練に参加したことはありますか。

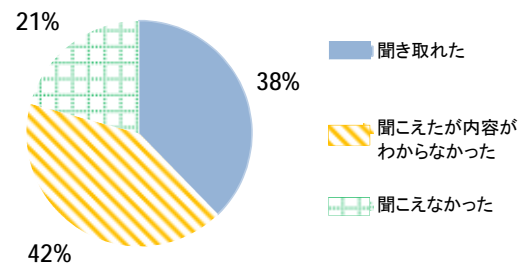
<input type="checkbox"/> ある	2 人
<input type="checkbox"/> ない	51 人
	n= 53



問2: 今回の訓練内容についてお聞きします。

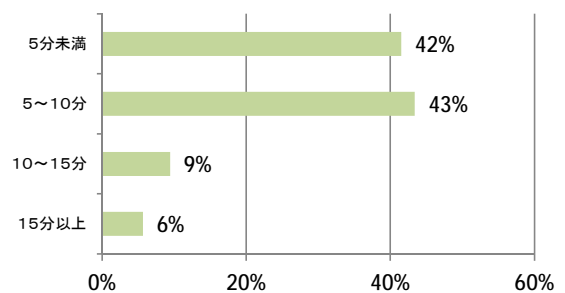
2-① お住まいの地域の防災行政無線は聞き取れましたか。

<input type="checkbox"/> 聞き取れた	20 人
<input type="checkbox"/> 聞こえたが内容はわからなかった	22 人
<input type="checkbox"/> 聞こえなかった	11 人
	n= 53



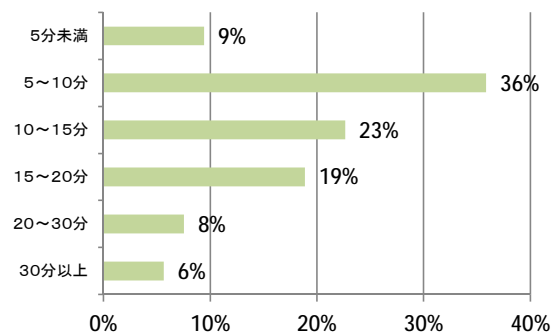
2-② 市(町)から避難勧告があったあと、家を出るまでどの程度の時間が掛かりましたか。

<input type="checkbox"/> 5分未満	22 人
<input type="checkbox"/> 5～10分程度	23 人
<input type="checkbox"/> 10～15分程度	5 人
<input type="checkbox"/> 15分以上	3 人
	n= 53



2-③ もし、避難勧告を受けて一緒にお住いの家族全員で避難する場合、どの程度の時間がかかると思いますか。

<input type="checkbox"/> 5分未満	5 人
<input type="checkbox"/> 5～10分程度	19 人
<input type="checkbox"/> 10～15分程度	12 人
<input type="checkbox"/> 15～20分程度	10 人
<input type="checkbox"/> 20～30分程度	4 人
<input type="checkbox"/> 30分以上	3 人
	n= 53

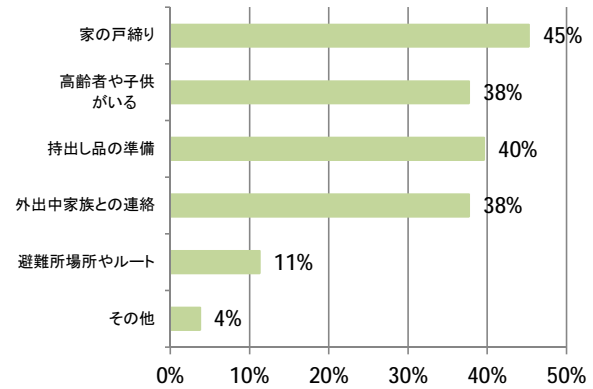


2-④ 今回の避難訓練に参加してみて、実際に避難勧告が発令されて避難する際、どんなことに時間が掛かると思われますか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 家の戸締り	24 人
<input type="checkbox"/> 家族(同居者)に高齢者や子供がいる	20 人
<input type="checkbox"/> 持ち出し品の準備	21 人
<input type="checkbox"/> 外出中の家族との連絡	20 人
<input type="checkbox"/> 避難所の場所やルートの確認	6 人
<input type="checkbox"/> その他	2 人
	n= 53

◇その他の主な理由

- ・近隣の高齢者のお世話に時間を要する
- ・停電が予想され、行動に支障が生じると考えられる

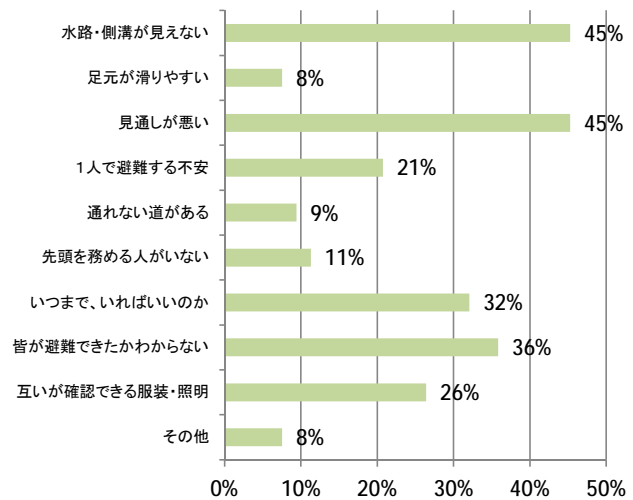


2-⑤ 実際に夜間に避難してみて、どのような問題点に気づかれましたか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 水路・側溝が暗くて見えない	24 人
<input type="checkbox"/> 足元が滑りやすい	4 人
<input type="checkbox"/> 見通しが悪い	24 人
<input type="checkbox"/> 1人で避難することの不安	11 人
<input type="checkbox"/> 通れない道がある	5 人
<input type="checkbox"/> 先頭を務める人がいないと不安	6 人
<input type="checkbox"/> 避難してからいつまで、そこにいればいいか(安全か)不安	17 人
<input type="checkbox"/> 家族や近所などの皆が避難できたかわからない	19 人
<input type="checkbox"/> 避難者の互いが確認できる服装や照明器具が必要	14 人
<input type="checkbox"/> その他	4 人
	n= 53

◇その他の主な理由

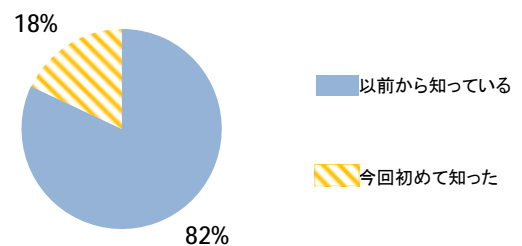
- ・道路が暗い
- ・停電等の心配
- ・消防車のサイレンが聞こえなかったので心配
- ・空き巣が心配



問3: 日ごろの備えについてお聞きします。

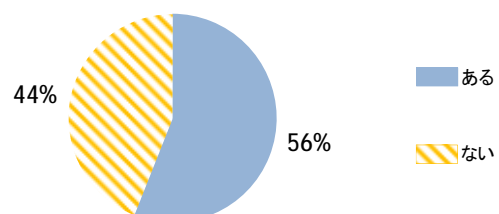
3-① 避難所は知っていましたか。

<input type="checkbox"/> 以前から知っている	41 人
<input type="checkbox"/> 今回の訓練で初めて知った	9 人
	n= 50



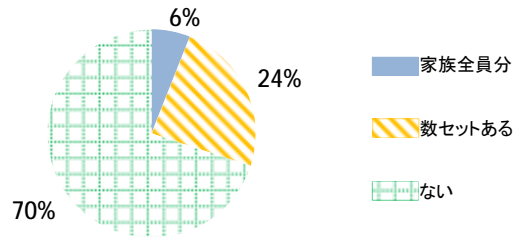
3-② 市が発行している防災マップなどで危険箇所などを、これまで確認したことはありますか。

<input type="checkbox"/> ある	28 人
<input type="checkbox"/> ない	22 人
	n= 50



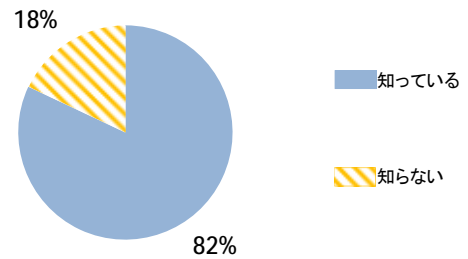
3-③ 避難時の非常用持ち出し袋は用意してありますか。

<input type="checkbox"/> 家族全員分ある	3 人
<input type="checkbox"/> 数セットある	12 人
<input type="checkbox"/> ない	35 人
	n= 50



3-④ 洪水や土砂災害の恐れのある際に、避難所への避難のために屋外に出ることが、かえって危険な場合、自宅や隣接の建物の2階以上(土砂災害であれば斜面と反対側の2階以上の部屋)に避難した方が安全を確保できることがあることを知っていますか。

<input type="checkbox"/> 知っている	41 人
<input type="checkbox"/> 知らない	9 人
	n= 50



◇今回の訓練に関するご意見・ご感想等あればご自由に記載ください。

○ プラス意見

- ・今回の訓練に参加してはじめて町民会館が避難場所に指定されていることに気付いた。(自宅から近いので安心した)
- ・避難場所が知れてよかった。
- ・今後もこういった訓練を実施してほしい。
- ・今回のような訓練は大変重要だと感じた。
- ・防災行政無線がしっかり聞こえたので良かった。
- ・日頃からの心がけが大切だと感じた。
- ・避難所開設も訓練開始と同時に行うことができて良かった。

○ 問題点等

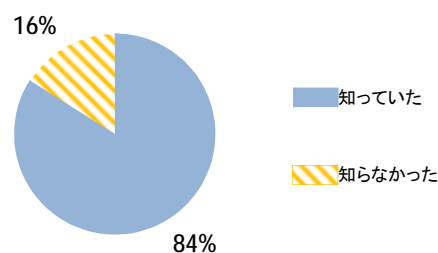
- ・高齢者の歩行が困難の場合、何か対策が必要
- ・避難誘導マイクが聞こえづらかった。
- ・空き巣が心配



## <参考2>住民アンケート結果(垂直避難編)

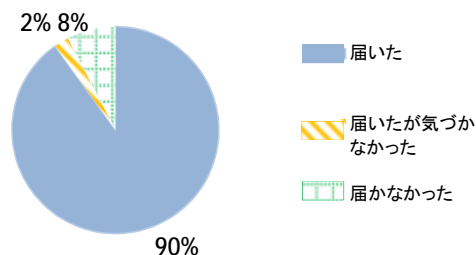
Q1 6月18日に夜間訓練が実施されることを事前知っていましたか。

<input type="checkbox"/> 知っていた	617 人
<input type="checkbox"/> 知らなかった	118 人
	n= 735



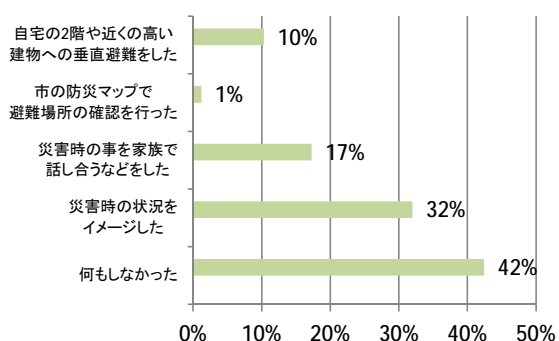
Q2 お手元の携帯電話に、訓練のための緊急速報メール(エリアメール)は届きましたか。

<input type="checkbox"/> 届いた	662 人
<input type="checkbox"/> 届いたが気づかなかった	17 人
<input type="checkbox"/> 届かなかった	56 人
	n= 735



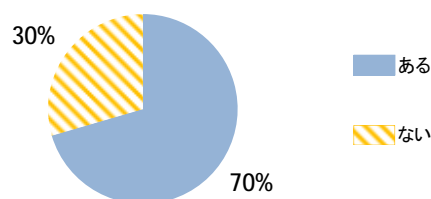
Q3 緊急速報メール(エリアメール)が届いた方にお聞きします。緊急速報メール(エリアメール)の内容をみてどのような行動を取られましたか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 自宅の2階や近くの高い建物への垂直避難をした	76 人
<input type="checkbox"/> 市の防災マップで避難場所の確認を行った	9 人
<input type="checkbox"/> 災害時の事を家族で話し合うなどをした	127 人
<input type="checkbox"/> 災害時の状況をイメージした	235 人
<input type="checkbox"/> 何もしなかった	312 人
	n= 735



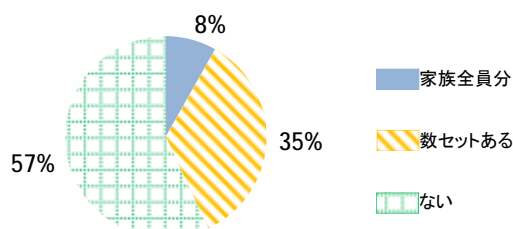
Q4 市が発行している防災マップなどで危険箇所などを、これまで確認したことはありますか。

<input type="checkbox"/> ある	518 人
<input type="checkbox"/> ない	217 人
	n= 735



Q5 避難時の非常用持出袋は用意してありますか。

<input type="checkbox"/> 家族全員分ある	60 人
<input type="checkbox"/> 数セットある	257 人
<input type="checkbox"/> ない	418 人
	n= 735



＜参考3＞昨年度との住民アンケート結果の比較（水平避難編）

問1：今回の夜間訓練についてお聞きます。

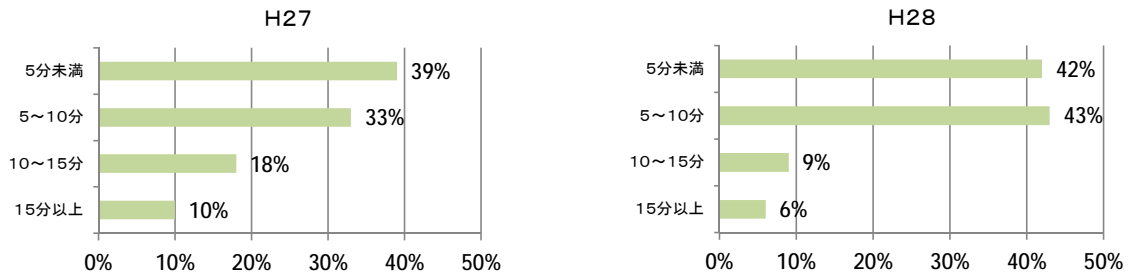
1-① これまで、大雨や土砂災害を想定した避難訓練に参加したことはありますか。



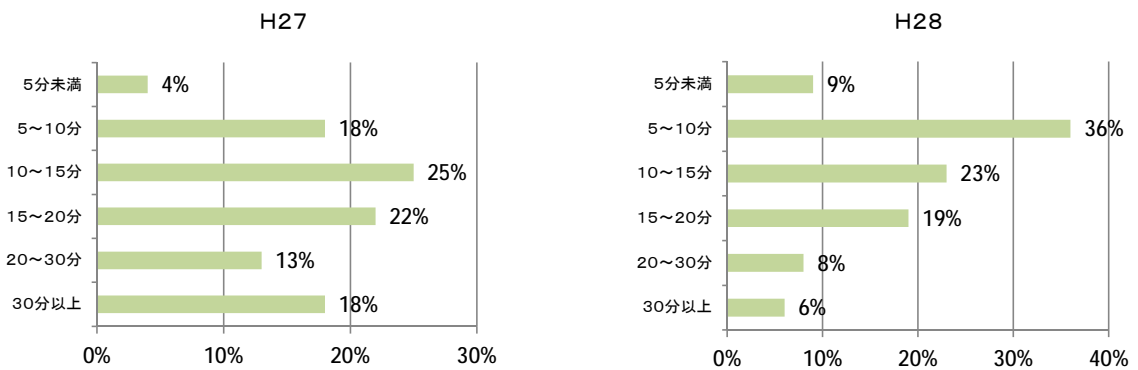
1-② 夜間の避難訓練に参加したことはありますか。



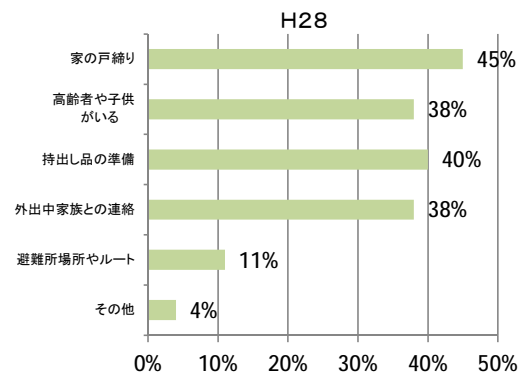
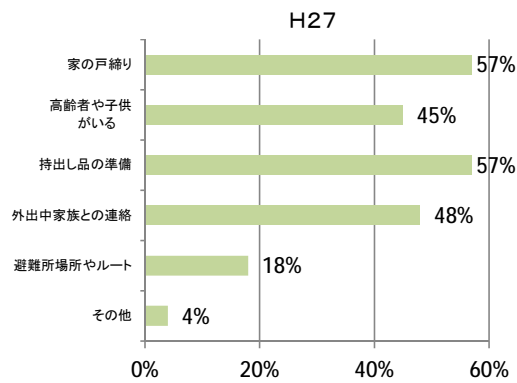
2-① 巾（町）から避難勧告がめつにめと、家を出るまじどの程度の時間が掛かりましたか。



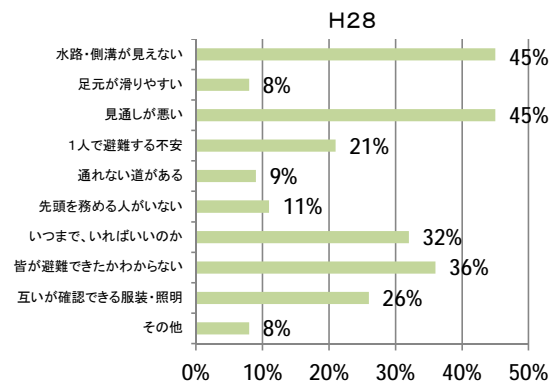
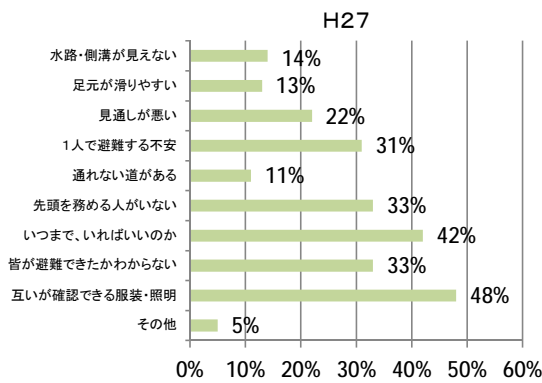
2-② もし、避難勧告を受けて一緒にお住いの家族全員で避難する場合、どの程度の時間が掛かるとお思いますか。



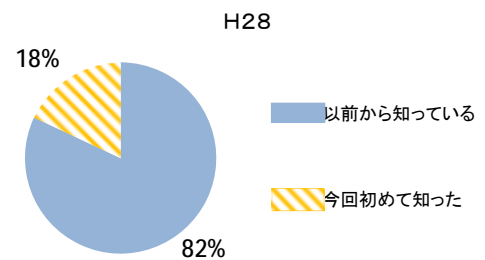
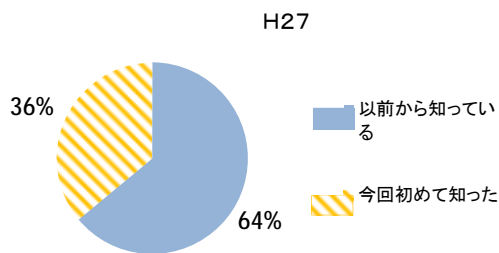
2-③ 今回の避難訓練に参加してみて、実際に避難勧告が発令されて避難する際、どんなことに時間が掛かるとお思いますか。(複数回答可)



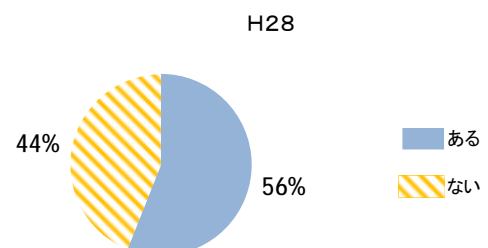
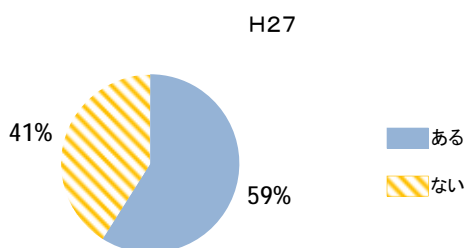
2-④ 実際に夜間に避難してみて、どのような問題点に気づかれましたか。(複数回答可)



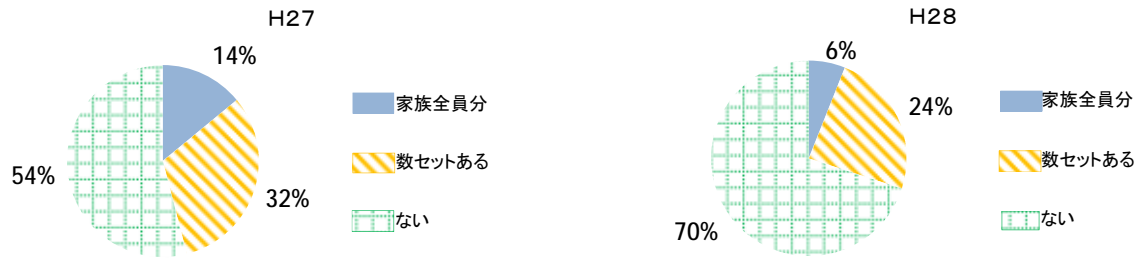
3-① 避難所は知っていましたか。



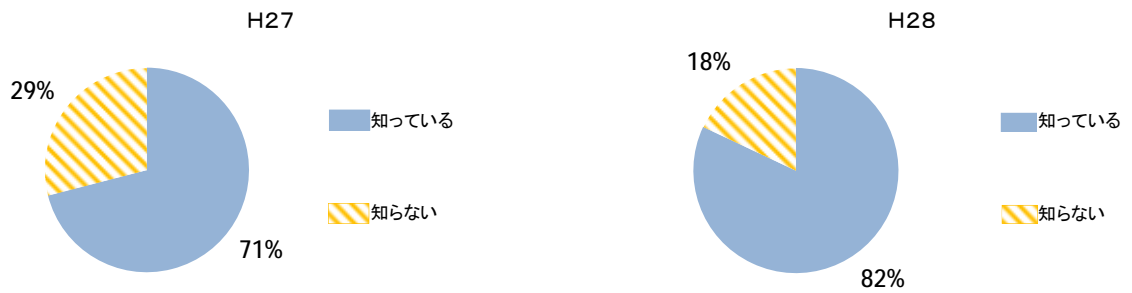
3-② 市が発行している防災マップなどで危険箇所などを、これまで確認したことはありますか。



3-③ 避難時の非常用持ち出し袋は用意してありますか。

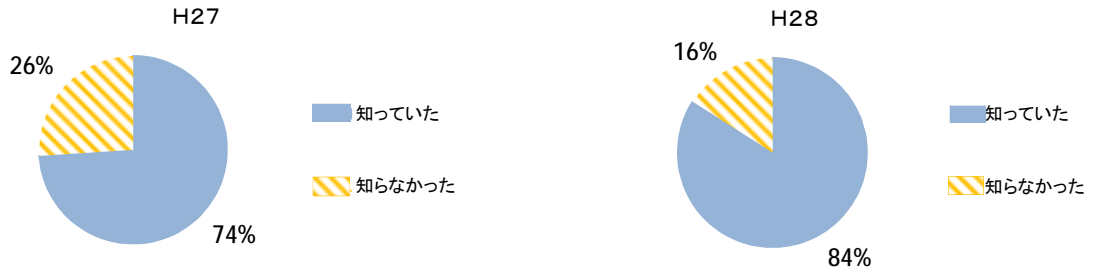


3-④ 洪水や土砂災害の恐れのある際に、避難所への避難のために屋外に出ることが、かえって危険な場合、自宅や隣接の建物の2階以上(土砂災害であれば斜面と反対側の2階以上の部屋)に避難した方が安全を確保できることがあること知っていますか。

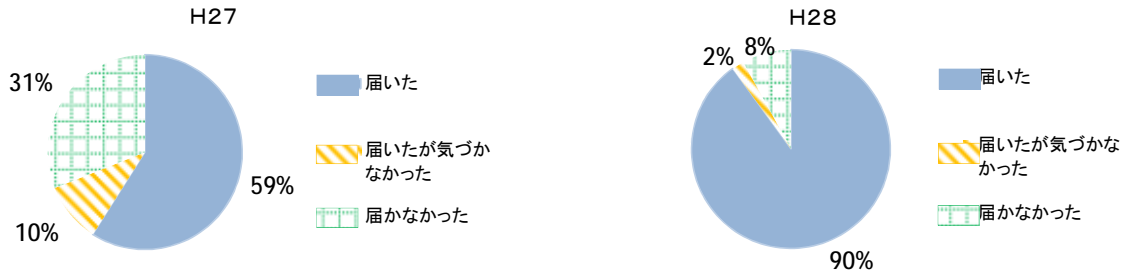


＜参考4＞昨年度との住民アンケート結果の比較(垂直避難編)

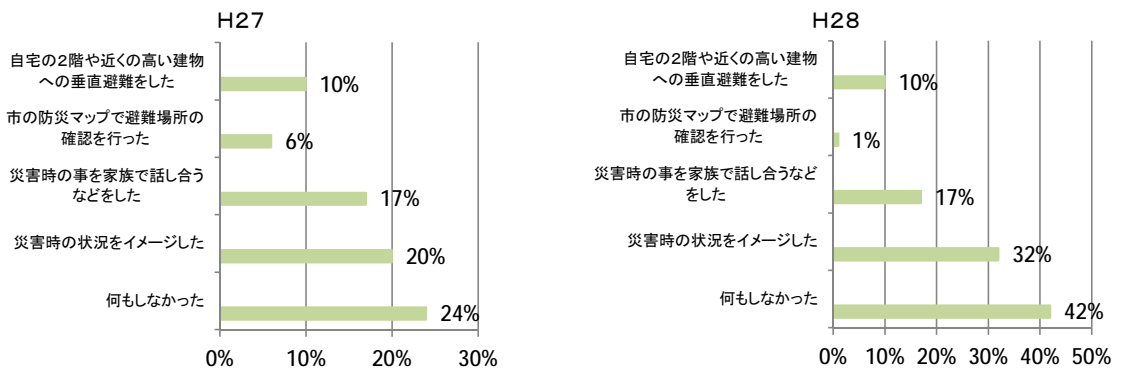
Q1 あなたは、6月20日に夜間訓練が実施されることを事前には知っていましたか。



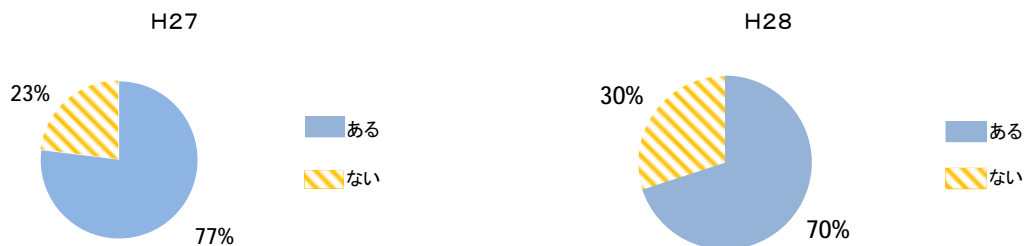
Q2 お手元の携帯電話に、訓練のための緊急速報メール(エアメール)は届きましたか。



Q3 緊急速報メール(エアメール)が届いた方にお聞きます。緊急速報メール(エアメール)の内容を見てどのような行動を取られましたか。(複数回答可)



Q4 市が発行している防災マップなどで危険箇所などをこれまで確認したことがありますか。



Q5 避難時の非常用持出袋は用意してありますか。

